

令和8年度

中堅養護教諭資質向上研修実施計画

目次

中堅養護教諭資質向上研修1年の流れ

I	実施要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	実施機関と研修内容等・・・・・・・・	5
III	研修の実施及び書類作成について・・・	7
IV	関係様式・・・・・・・・・・・・・・・・	14

宮城県教育委員会

中堅養護教諭資質向上研修の1年の流れ

2月	「令和8年度中堅養護教諭資質向上研修実施計画」【通知】							
3月	事前準備	中堅養護教諭資質向上研修を受ける養護教諭（以下、当該養護教諭」という。）と管理職は実施計画を確認し、研修の目的、進め方等を理解する。						
4月	作成	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">様式1</td> <td>研修計画立案のための評価票</td> </tr> <tr> <td>様式2</td> <td>研修計画書</td> </tr> </table> <p>当該養護教諭・校長は、評価案を作成後、面談をし、研修計画書を作成する。</p>	様式1	研修計画立案のための評価票	様式2	研修計画書		
様式1	研修計画立案のための評価票							
様式2	研修計画書							
☆ 全校 ◎ 当該養護教諭全員 △ 必要に応じて								
5月	受講申込	総合教育センターホームページPlantより申し込む。						
☆ ※選択研修のうち、総合教育センター開催の研修会についても申し込む。								
6月	提出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">センター様式第2号</td> <td>期日変更・延期願</td> </tr> </table> <p>電話連絡後、なるべく早い時期に提出する。</p>	センター様式第2号	期日変更・延期願				
センター様式第2号	期日変更・延期願							
△								
7月	提出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">様式1</td> <td>研修計画立案のための評価票</td> </tr> <tr> <td>様式2</td> <td>研修計画書</td> </tr> <tr> <td>様式3</td> <td>代替申請書</td> </tr> </table>	様式1	研修計画立案のための評価票	様式2	研修計画書	様式3	代替申請書
様式1	研修計画立案のための評価票							
様式2	研修計画書							
様式3	代替申請書							
◎ ◎ ※公印・私印は省略する。 △								
8月	【研修】	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> ◆校外研修 <input type="checkbox"/> 基本研修1 5/1(金)～5/29(金) ※オンライン研修 <input type="checkbox"/> 基本研修2 6/18(木)・19(金) <input type="checkbox"/> 基本研修3 10/29(木)・11/6(月) <input type="checkbox"/> 専門研修1 5/21(木) <input type="checkbox"/> 専門研修2 8/17(月)～9/18(金) ※一部オンライン研修 ※演習は9/24(木) <input type="checkbox"/> 専門研修3 10/16(金) <input type="checkbox"/> 専門研修4 12/2(水) </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 選択研修 1～3日 ※各自の課題に沿って 選択して受講 </td> </tr> </table>	◆校外研修 <input type="checkbox"/> 基本研修1 5/1(金)～5/29(金) ※オンライン研修 <input type="checkbox"/> 基本研修2 6/18(木)・19(金) <input type="checkbox"/> 基本研修3 10/29(木)・11/6(月) <input type="checkbox"/> 専門研修1 5/21(木) <input type="checkbox"/> 専門研修2 8/17(月)～9/18(金) ※一部オンライン研修 ※演習は9/24(木) <input type="checkbox"/> 専門研修3 10/16(金) <input type="checkbox"/> 専門研修4 12/2(水)	<input type="checkbox"/> 選択研修 1～3日 ※各自の課題に沿って 選択して受講				
◆校外研修 <input type="checkbox"/> 基本研修1 5/1(金)～5/29(金) ※オンライン研修 <input type="checkbox"/> 基本研修2 6/18(木)・19(金) <input type="checkbox"/> 基本研修3 10/29(木)・11/6(月) <input type="checkbox"/> 専門研修1 5/21(木) <input type="checkbox"/> 専門研修2 8/17(月)～9/18(金) ※一部オンライン研修 ※演習は9/24(木) <input type="checkbox"/> 専門研修3 10/16(金) <input type="checkbox"/> 専門研修4 12/2(水)	<input type="checkbox"/> 選択研修 1～3日 ※各自の課題に沿って 選択して受講							
◆校内研修 5日 児童生徒の健康課題の解決に向けた組織的な学校保健活動の推進に関する研修 ※様式例を参考に「校内研修計画書」及び「校内研修記録」を各校で作成・保管								
9月	提出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">センター様式第1号</td> <td>欠席届</td> </tr> <tr> <td>様式4</td> <td>選択研修変更願</td> </tr> </table>	センター様式第1号	欠席届	様式4	選択研修変更願		
センター様式第1号	欠席届							
様式4	選択研修変更願							
△ △								
10月	提出	様式5 選択研修報告書 ※8月末日まで受講分						
△								
11月	提出	様式5 選択研修報告書 ※9月以降受講分						
△								
12月	作成・提出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">様式6</td> <td>成果報告書 ※事後評価を含む</td> </tr> <tr> <td>様式7</td> <td>研修報告書</td> </tr> </table>	様式6	成果報告書 ※事後評価を含む	様式7	研修報告書		
様式6	成果報告書 ※事後評価を含む							
様式7	研修報告書							
◎ ◎								
関係書類の提出先と提出期限等の詳細はP. 14参照								

I 実施要項

1 目的

養護教諭としての経験を踏まえ、専門的・実践的な研修を行い、児童生徒の心身の健康・安全に関する様々な課題に対応するために必要な指導力と実践力の更なる向上を図る。

2 対象

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に在籍し、教職経験10年経過11年目の養護教諭（以下、「当該養護教諭」という。）とする。※過年度未受講者を含む。

なお、下記に留意のこと。

(1) 在職期間について

- ① 在職期間は、国立学校、公立学校又は私立学校である小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の養護教諭として在職した期間（臨時的に任用された期間を除く。）を通算した期間とする。
- ② 教育委員会において学校教育又は社会教育に関する事務に従事した期間があるときには、在職期間に通算する。
- ③ 在職期間のうち、次に掲げる期間が引き続き1年以上あるときは、その期間の年数（1年未満の端数があるときは、これを切り捨てた年数）を当該在職期間から除算する。
 - ア 休職又は停職により現実に職務を執ることを要しない期間
 - イ 育児休業をした期間
 - ウ 配偶者同行休業等をした期間
 - エ 職員団体の役員として専ら従事した期間

(2) 次の者は対象者から除く。

- ① 臨時的に任用された者
- ② 他の任命権者が実施する当該研修に相当する研修を受けた者

(3) 平成29年度までの10年経験者研修又は令和7年度までの中堅養護教諭資質向上研修を未受講の者（延期者）は対象とする。

3 内容

研修内容は、次のとおりとする。

- (1) 校外研修 年間 8～10日
- (2) 校内研修 年間 5日

4 期間

研修の実施期間は、令和8年4月1日から令和9年3月31日までの1年間とする。

5 実施主体

中堅養護教諭資質向上研修は、県教育委員会が主催し、総合教育センターが実施する。

6 実施体制

- (1) 総合教育センターは、当該養護教諭が所属する市町村教育委員会（以下、「市町村教育委員会」という。）及び当該養護教諭が所属する学校の協力を得て実施する。
- (2) 市町村教育委員会及び当該養護教諭が所属する学校は、研修の状況を把握し、研修に対して必要な協力を行う。

7 評価及び研修計画

【市町村立学校】

- (1) 総合教育センターは、前年度内に、当該養護教諭の能力・適性等についての評価の観点及び評価票を作成し、市町村教育委員会に通知する。
- (2) 市町村教育委員会は、必要に応じて観点を加え、当該養護教諭が所属する学校の校長に通知す

る。

- (3) 当該養護教諭は、評価の観点に基づいて自己評価を行い、研修計画立案のための評価票を校長に提出する。
- (4) 校長は、当該養護教諭の自己評価を参考に、評価の観点に基づいて当該養護教諭の評価を行った上で、研修計画書を作成し、評価票とともに市町村教育委員会に提出する。
- (5) 市町村教育委員会は、校長から提出された評価票及び研修計画書の調整を行い、決定後、教育事務所に提出する。
- (6) 教育事務所は、評価票及び研修計画書を、総合教育センターに提出する。
- (7) 校長は、研修計画書に基づいて、当該養護教諭に職務上の命令を発する。

【県立学校】

- (1) 総合教育センターは、前年度内に当該養護教諭の能力・適性等についての評価の観点及び評価票を作成し、校長に通知する。
- (2) 校長は、必要に応じて、評価票に学校独自の評価の観点を付加することができる。
- (3) 当該養護教諭は、評価の観点に基づいて自己評価を行い、研修計画立案のための評価票を校長に提出する。
- (4) 校長は、当該養護教諭の自己評価を参考に、評価の観点に基づいて当該養護教諭の評価を行った上で、研修計画書を作成し、評価票とともに総合教育センターに提出する。
- (5) 校長は、研修計画書に基づいて、当該養護教諭に職務上の命令を発する。

【市立高等学校】

- (1) 総合教育センターは、前年度内に、当該養護教諭の能力・適性等についての評価の観点及び評価票を作成し、市教育委員会に通知する。
- (2) 市教育委員会は、必要に応じて観点を加え、当該養護教諭が所属する学校の校長に通知する。
- (3) 当該養護教諭は、評価の観点に基づいて自己評価を行い、研修計画立案のための評価票を校長に提出する。
- (4) 校長は、当該養護教諭の自己評価を参考に、評価の観点に基づいて当該養護教諭の評価を行った上で、研修計画書を作成し、評価票とともに市教育委員会に提出する。
- (5) 市教育委員会は、校長から提出された評価票及び研修計画書の調整を行い、決定後、総合教育センターに提出する。
- (6) 校長は、研修計画書に基づいて、当該養護教諭に職務上の命令を発する。

8 実施計画

- (1) 総合教育センターは、実施計画を作成し、市町村教育委員会、県立学校長に通知する。
- (2) 実施計画においては、校外研修、校内研修及びその他研修について必要な事項を定める。

9 校内体制

- (1) 校長は、当該養護教諭が研修を受けるときには、校内体制を整備し、業務に支障が生じないよう配慮する。
- (2) 校長、副校長、教頭、主幹教諭及び教諭（教務主任、保健主事）等は、研修計画に従い、当該養護教諭の指導・助言を行う。

10 評価及び研修報告

- (1) 当該養護教諭は、評価の観点に基づいて、研修以前との比較を含め成果報告書をまとめ自己評価を行い、校長に提出する。
- (2) 校長は、当該養護教諭の自己評価も参考に、評価の観点に基づいて、研修以前との比較を含め評価を行い、成果報告書を作成する。また、校外研修及び校内研修の実績と効果について研修報告書を作成し、成果報告書と併せて、次のように提出する。また、その評価を当該養護教諭の以後の指導や研修に活用する。
 - ① 市町村立学校においては、市町村教育委員会に提出する。市町村教育委員会は、成果報告書及び研修報告書について取りまとめ、教育事務所に提出する。教育事務所は、成果報告書及び研修報告書を取りまとめ、総合教育センターに提出する。

- ② 県立学校においては、総合教育センターに提出する。
- ③ 市立高等学校においては、市教育委員会に提出する。市教育委員会は、成果報告書及び研修報告書について取りまとめ、総合教育センターに提出する。

11 その他

この要項は令和8年4月1日から施行し、令和9年3月31日限り、その効力を失う。

中堅養護教諭資質向上研修に係る在職期間について

■在職期間とは

国立、公立又は私立の学校の養護教諭等として在職した期間のこと。他県での在職期間も含む。
 ※宮城県では在職期間10年を経過した11年目に当たる年度に中堅養護教諭資質向上研修を実施。

○在職期間とみなす ……産前・産後休暇、病気休暇、育児短時間勤務、大学院修学休業、指導主事、社会教育主事、教育委員会において学校教育、社会教育に関する事務従事期間。

●在職期間とみなさない……育児休業、退職、停職、職員団体の専従、配偶者同行休業、臨時的任用期間（講師等）

※中堅養護教諭資質向上研修に係る在職期間は、「当該年度ごと」に在職期間とするかどうかを判断して計算する（下記例参照）。

〈在職期間例〉

例1 研修対象

* 太枠は在職期間該当を示している。

年度採用後の年数	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目
在職年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	R8中堅研実施

例2 研修対象（除算期間あり）

	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目			
	1年	2年	3年	休職	4年	5年	病休	6年	7年	休職	8年	配偶者同行休業	9年	R9以降対象

* 休職を含め3回の休みはあるが、年度全体の休みでないため、除算しない。配偶者同行休業をした期間が1年以上あるのでその期間の年数（1年未満の端数があるときは、これを切り捨てた年数）を除算する。

例3 研修対象（除算期間あり）

	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目		
	1年	2年	休職 (5+7か月)	3年	産休	育休24か月 (4+12+8か月)	5年	6年	7年	大学院修学休業	8年	9年	R9以降対象

* 13か月連続休職だが、年度をまたぐため年間除算しない。

* 4年目の4か月と6年目の8か月は切り捨てたので除算しない。

留意点

- (1) 年度初め4月1日から翌年の3月31日まで継続した場合（12か月）→「1年除算」
- (2) (1)からさらに継続して2年（24か月）以上ある場合→「2年除算」
- (3) 1年（12か月）未満の場合→「在職1年」※除算しない。

II 実施機関と研修内容等

1 実施機関と研修内容

総括・主管	種別	実施機関	日数	研修内容等
総合教育センター	校外研修	総合教育センター	3	基本研修
			4	専門研修
		小計	7	
		総合教育センター等	1～3	選択研修
		小計	8～10	
	校内研修	当該学校	5	児童生徒の健康課題の解決に向けた組織的な学校保健活動の推進に関する研修
		合計	13～15日	

2 校外研修計画

No.	研修名 身に付ける資質能力	期日及び対象	研修内容	会場
1	基本研修 1 (オンライン研修) 管理 教育 相談/指導 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力 リーダー 学校経営 管理運営 外部連携 人材育成	令和 8 年 5 月 1 日 (金) ~ 5 月 2 9 日 (金)	講話 「中堅養護教諭に期待するもの」 講義 「教職員の服務規律」 講義 「中堅教諭に求められる防災教育」 講義 「みやぎの志教育推進に向けて」	各所属校
2	専門研修 1 管理 教育 相談/指導 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力 リーダー 学校経営 管理運営 外部連携 人材育成	5 月 2 1 日 (木) (養教新規・5 年・中堅合同)	講義・演習 「学校における危機管理～組織的 取組における養護教諭の役割～」 実習 「救急処置～的確な判断と組織的な体制 づくり～」	総合教育センター
3	基本研修 2 管理 教育 相談/指導 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力 リーダー 学校経営 管理運営 外部連携 人材育成	6 月 1 8 日 (木) (中堅研 (小・養・栄) 合同) 又は 6 月 1 9 日 (金) (中堅研 (中・高・養・栄) 合同)	講義 「中堅教諭としての学校運営参画の視点 ～学校における O J T の推進～」 協議 「学び合う学校づくりに向けた具体的な 取組」 ※所属校の校種に該当する日に参加すること。	総合教育センター
4	専門研修 2 (オンライン研修) 管理 教育 相談/指導 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力 リーダー 学校経営 管理運営 外部連携 人材育成	8 月 1 7 日 (月) ~ 9 月 1 8 日 (金) 演習は 9 月 2 4 日 (木) (養教新規・5 年・中堅合同)	講義 「保健教育の基礎」 (NITS 校内研修シリ ーズ) 講義・演習 「学校環境衛生・薬物乱用防止～ 学校薬剤師と連携した保健管理 の充実～」 講義・演習 「学校歯科保健の最新情報～学校 歯科医師と連携した保健指導の 充実～」 講義・演習 「整形外科的疾患とスポーツ障害 ～保健指導の充実と推進～」	講義：各所属校 演習：総合教育セ ンター
5	専門研修 3 管理 教育 相談/指導 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力 リーダー 学校経営 管理運営 外部連携 人材育成	1 0 月 1 6 日 (金)	講義 「学校保健における健康管理の実践」 講義・演習 「アレルギー対応に関わる校内体制」 講義・演習 「保健組織活動の推進」	総合教育センター
6	基本研修 3 管理 教育 相談/指導 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力 リーダー 学校経営 管理運営 外部連携 人材育成	1 0 月 2 9 日 (木) (中堅研 (小・養・栄) 合同) 又は 1 1 月 6 日 (金) (中堅研 (中・高・養・栄) 合同)	講義・演習 「インクルーシブ教育について～ 特別支援教育の充実に向けて～」 講義・演習 「いじめ対策や学校生活に不安を 抱える児童生徒への支援～教育 相談体制づくり～」 協議 「これからの 1 0 年に向けて」 ※所属校の校種に該当する日に参加すること。	総合教育センター
7	専門研修 4 管理 教育 相談/指導 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力 リーダー 学校経営 管理運営 外部連携 人材育成	1 2 月 2 日 (水) (養教新規・5 年・中堅合同)	研究協議 「組織的な学校保健活動の推進に関 する実践研究 (実践研究発表)」 講話 「これからの養護教諭に求められるもの」	総合教育センター

※ は研修を通して身に付ける資質能力(「みやぎの教員に求められる資質能力【養護教諭】」より)

Ⅲ 研修の実施及び書類作成について

1 受講前の提出書類

(1) 提出書類

- ① 研修計画立案のための評価票 様式1 (公印・私印省略)
- ② 研修計画書 様式2 (公印省略)

(2) 提出先と期限

当該養護教諭	評価の観点に基づいて自己評価をし、校長へ提出する。 「研修計画立案のための評価票」(様式1)	★詳細はP. 8
↓		
校長	当該養護教諭から提出された「研修計画立案のための評価票」(様式1)を基に、評価の観点に基づいて当該養護教諭の評価を行った上で、指導助言をする。	
↓		
当該養護教諭	校長の指導・助言を基に、研修計画案を作成し、校長に提出する。	★詳細はP. 9
↓		
校長	当該養護教諭から提出された研修計画案を基に、「研修計画立案のための評価票」(様式1)との整合性や研修時期等の調整をし、「研修計画書」(様式2)を作成する。様式1及び様式2について、市町村立学校は市町村教育委員会に、県立学校は総合教育センター教職研修班宛てに、下記の所定ルートで提出する。 ※「研修計画立案のための評価票」の作成日は4月1日以降とし、親展扱いとする。	
↓		
市町村教育委員会	市町村立学校 校長から提出された「研修計画立案のための評価票」及び「研修計画書」の調整を行い、決定後、下記の所定ルートで教育事務所へ提出する。 ※評価票は親展扱いとする。	
↓		
教育事務所	市町村立学校 市町村教育委員会から提出された「研修計画立案のための評価票」及び「研修計画書」を集約し、総合教育センター教職研修班宛てデスクネットワークメールにより、PDF形式で提出する。	
↓		
総合教育センター	「研修計画立案のための評価票」と「研修計画書」を受領する。 【締切：令和8年5月15日(金)】	

提出の所定ルート

(紙媒体又はPDF) (紙媒体又はPDF) (PDF)

市町村立学校： 校長 → 市町村教育委員会 → 教育事務所 → 総合教育センター

※教育事務所から総合教育センターへの提出は、教職研修班宛てデスクネットワークメール(ウェブメール)で提出すること。なお、親展扱いの様式については、メールの件名に「親展」と明記すること。

(PDF)

県立学校： 校長 → 総合教育センター

※総合教育センターへの提出は、教職研修班宛てデスクネットワークメール(ウェブメール)で提出すること。

(紙媒体又はPDF) (PDF)

市立高等学校： 校長 → 市町村教育委員会 → 総合教育センター

※総合教育センターへの提出は、教職研修班宛て電子メールで提出すること。なお、親展扱いの様式については、メールの件名に「親展」と明記すること。

2 評価について

(1) 評価の基本的な考え方

以下の点から、当該養護教諭の能力・適性等の評価を行う。

- ① 当該養護教諭の専門性を向上させるとともに、得意分野を伸ばし不得意分野を克服する研修とする。
- ② 学校を支える中心的な立場として、研修終了後の指導や以降の研修に生かす。

(2) 評価の項目及び観点

- ① 評価の項目は、教育公務員特例法の規定に基づく指標である「みやぎの教員に求められる資質能力【養護教諭】」(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/shihyo.html>)を踏まえ、「保健管理力」「保健教育力」「健康相談及び保健指導力」「子供理解」「学校を支える力」「教育への情熱」「たくましく豊かな人間性」「自己研鑽力」の8項目とする。
- ② 評価の項目に即したそれぞれの観点は別に定め、事前の評価の項目及び観点は事後の評価と同一のものとする。
- ③ 評価は個人内評価*とし、研修開始時と研修終了時の中堅養護教諭としての意識の変容について当該養護教諭と校長とで共有し、「(1)評価の基本的な考え方」に基づいて行うものとする。



(3) 事前の評価「研修計画立案のための評価票」(様式1)の作成

当該養護教諭

自らの課題や適性、得意分野等を再認識し、研修がより効果的なものとなるよう、受講開始に当たってこれまでの教職員経験を振り返り、自己評価を行い、「研修計画立案のための評価票」(様式1)を校長に提出する。

**3月に実施
4月に提出**

校長

当該養護教諭から提出された「研修計画立案のための評価票」(様式1)を基に、評価の観点に基づいて当該養護教諭の評価を行った上で、適切な指導・助言をする。その際、「みやぎの教員に求められる資質能力」に基づき、研修を通して成長を期待する資質能力を当該養護教諭と共有する。

※「個人内評価」について

「個人内評価」は、教員個人の能力や適性、進歩の状況などを積極的に評価しようとするものです。中堅養護教諭資質向上研修は、一律の基準による目標達成を目指すものではなく、当該養護教諭の専門性を向上させるとともに、得意分野を伸ばし不得意分野を克服することが重要なポイントとなります。

この趣旨の達成のために、校内研修計画では専門性の向上として「校内研修テーマ」を設定します。

「研修計画立案のための評価票(様式1)」は、このテーマの設定と、1年間の研修をどのように進めるか見極めるためのものになります。自己評価を通して、当該養護教諭がしっかりと自己に向き合い、自身の得意不得意を4段階で評価します。校長は中堅養護教諭として期待される水準から4段階で評価します。校長からの客観的な評価を得ることで、より適切なテーマを設定し、研究を進めることができます。したがって、計画立案の際には、当該養護教諭の自己評価と校長の見立てである校長評価を共有し、伸ばすべき力を確認することが大切です。

(4) 人事異動に伴う留意事項等

- ① 当該養護教諭に人事異動があった場合

ア 校長は、当該養護教諭の指導経過を踏まえた評価票案及び研修計画案を、異動先の校長に送付する。

イ 異動先の校長は、当該養護教諭から自己評価及び校外研修計画案・校内研修計画案について聴取し、アの評価票案及び研修計画案を参考にするとともに、本人事情や校内事情等を勘案して評価票及び研修計画書を作成する。

- ② 校長に人事異動があった場合
 - ア 校長は、後任の校長に当該養護教諭に関わる能力・適性等に係る自己評価と校外研修計画案・校内研修計画案及び校長が作成する評価票と研修計画書に関する引継ぎを行う。
 - イ 後任の校長は、当該養護教諭の評価票と研修計画書を作成し、提出する。
- ③ 当該養護教諭及び校長に人事異動があった場合上記①及び②を踏まえ、適切に対応する。

3 研修計画について

(1) 研修計画作成の基本的な考え方

校長は、本研修の趣旨を十分に踏まえ、当該養護教諭の個々の能力・適性等に基づいた「研修計画書」（様式2）を作成する。

(2) 「研修計画書」（様式2）の作成

当該養護教諭 校長の指導助言を踏まえた自己評価に基づき、総合教育センターから示された「令和8年度中堅養護教諭資質向上研修実施計画」を参考にして、自らの課題と組織的な学校保健活動の推進に関する課題を関連付けた校内研修テーマを設定し、そのテーマに沿った校内研修計画案・校外研修計画案を作成し、校長に提出する。

校長 当該養護教諭から提出された自己評価と校内研修計画案・校外研修計画案を精査し、それに基づいた研修実施時期の決定を含めた「研修計画書」（様式2）を作成する。

(3) 校内研修（5日）

校内において、児童生徒の健康課題の解決に向けた組織的な学校保健活動の推進に関する研修を、校長、副校長・教頭等の指導・助言の下、実施する。1日当たりの研修期間は、研修内容によって適切な時間を確保する。

① 保健教育に関する授業実践は、養護教諭の職務「保健教育」に基づき、1回以上行うこととする。なお、授業実践は、保健指導、個別指導及び啓発活動を除く。

② 校内研修では、児童生徒の健康課題の解決に向けた組織的な学校保健活動の推進に関する実践研究に取り組み、その内容を校外研修（専門研修4）で発表する。

③ 実施上の留意点

ア あらかじめ各学校の年間計画や保健室経営計画に組み入れたり、各学校の実情に応じて時間帯を工夫したりするなど、校長は、確実に校内研修を実施する措置を講じるものとする。

イ 当該養護教諭の立てたテーマが各学校の校内研修として計画されている研修に沿う場合、本研修の一部とすることができる。ただし、年度当初に計画していないものについては、原則として研修日数に組み入れることはできないものとする。

ウ 当該養護教諭は、研修の成果を所属校に還元し、研修内容の一層の深化を図るため、初任層や5年研等の教員に対する適切な指導・助言や校内研究での講師、発表者の役割等を担うなど校内でのOJTの推進役となるように努める。校長は、中堅養護教諭資質向上研修の研修成果を発揮する機会を設けるよう、研修計画の作成に当たって配慮するものとする。

④ 研修記録

ア 校内研修の記録は、校長、副校長、教頭、主幹教諭及び教諭（教務主任、保健主事）等の指導・助言の下、当該養護教諭が本研修に係る「校内研修記録」（様式例参照）を作成するとともに、各学校においてその累積と保管を行うなどして研修の改善等に活用する。

イ 「校内研修記録」（様式例参照）は全研修終了後、各学校において保管し、次年度以降の活用を図る。

校内研修テーマ例 参考

※保健室経営、保健管理、保健教育、健康相談に関する事項

- ・ 効果的な保健室経営を進めるために－「個」の対応から「組織」による支援体制の構築へ－
- ・ 専門性を生かした校内における危機管理のあり方－教職員と専門機関が連携して対応する危機体制の構築－
- ・ 学校における病気の児童生徒に対する心身の支援－学校医・教職員と連携した継続的ケアの実践－
- ・ ICT を活用した保健管理の在り方－情報共有を通じた教職員・学校医との協働支援－
- ・ 発達段階に応じた性教育の実践－養護教諭と教職員が連携する性教育－
- ・ 校種間で連携した生活習慣の確立－小・中学校間の接続を意識した継続的支援－
- ・ 専門性を生かした保健教育の取組－養護教諭と教職員が連携する体系的保健教育－
- ・ 健康相談を生徒指導に生かす－考察－養護教諭と教職員の協働による健康相談－
- ・ 特別な配慮を要する児童生徒について養護教諭の専門性を生かした指導の実践－医療機関・教職員との連携による個別支援体制の構築－
- ・ 教職員と連携した児童生徒の心のケア－スクールカウンセラー・学校医と協働する心身の健康支援－
- ・ 地域保健と学校保健の連携－学校医・歯科医・薬剤師と地域保健機関が協働する包括的健康支援モデル－
- ・ 幼保小間の円滑な接続のために－地域と協働した発達段階に応じた健康支援の体系化－

(4) 校外研修（８～１０日）

基本研修、専門研修及び選択研修を通して、職務の専門性を発揮し、特に中堅養護教諭として学校を支える力の伸長を目指すとともに、教員としての力量を幅広く高める。

基本研修、専門研修についての詳細については、Plantに掲載する。

① 基本研修（３日）

ア 総合教育センターで担当する。

イ 総合教育センター又は各所属校を会場として実施する。

ウ 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校合同の研修会として実施する。

② 専門研修（４日）

ア 総合教育センターで担当する。

イ 総合教育センター又は各所属校を会場として実施する。

ウ 専門研修１、２、４については、養護教諭の新規採用者及び５年経験者と合同の研修会として実施する。

(5) 校外研修の受講に係る留意事項

① 校外研修を欠席する場合

ア 中堅養護教諭資質向上研修は、悉皆研修である。そのため、やむを得ない理由以外による欠席は認めない。

イ 欠席する場合、教頭等は、当該養護教諭の「欠席届」（センター様式第１号）（「令和８年度宮城県教職員研修計画」を参照）を総合教育センター所長宛てに提出する。

(7) 市町村立学校の場合

教頭等は、市町村教育委員会に相談の上、研修担当指導主事に電話連絡をする。その後、速やかに当該養護教諭の「欠席届」（センター様式第１号）（「令和８年度宮城県教職員研修計画」を参照）を以下のルートで総合教育センター所長宛てに提出する。

校長 → 市町村教育委員会 → 教育事務所 → 総合教育センター

(イ) 県立学校の場合

教頭等は、研修担当指導主事に電話連絡をする。その後、速やかに当該養護教諭の「欠席届」を以下のルートで総合教育センター所長宛てに提出する。

校長 → 総合教育センター

(ウ) 市立高等学校の場合

教頭等は、市教育委員会に相談の上、研修担当指導主事に電話連絡をする。その後、速やかに当該養護教諭の「欠席届」を以下のルートで総合教育センター所長宛てに提出する。

校長 → 市教育委員会 → 総合教育センター

ウ 欠席した研修の補充等については、欠席事由や研修内容などにより対応が異なるため、研修担当指導主事から直接指示を受ける。

エ 欠席した研修の補充等ができない場合、原則として、補充できなかった研修のみ次年度受講とし、次年度の初めに「研修計画書」（様式２）を提出する。その際、前年度に受講済の研修についても記載する。なお、成果報告書（様式６）及び研修報告書（様式７）は、本研修のすべてを受講終了した年度末に作成し、所定のルートで提出する。

② 受講延期について

ア やむを得ない理由で受講を延期する場合、校長は速やかに当該養護教諭の「延期願」（センター様式第２号）を、総合教育センター所長宛てに提出する（提出方法及びルートは上記「欠席届」と同様）。

イ 「延期願」は年度ごとに許可されるため、原則として年度始めに提出すること。ただし、複数年度にまたがる場合は、毎年４月に提出すること。

③ 選択研修について

ア ねらい

当該養護教諭の個々の能力・適性についての評価に基づき、選択して受講することで、

個々の課題等に沿った専門性と幅広い視野を養う。

イ 研修内容・日数

I 専門研修 (P. 13 【選択研修計画】 NO. 1～4 参照) 1～3日

ウ 選択・受講の手順

(ア) 選択研修計画を参考に、領域 I の各研修の中から、研修計画書のテーマに沿った研修を選択する。

(イ) 各研修の詳細については、別途「選択研修一覧」(以下、「一覧」という)を確認する。

宮城県総合教育センターホームページ>令和8年度指定研修実施計画・新任教員のしおり
>令和8年度指定研修実施計画>中堅養護教諭資質向上研修>選択研修一覧で公開
URL: <https://www.pref.miyagi.jp/site/sokyos/siteikensyu-jissikeikaku.html>

(ウ) 期日等を確認し、研修計画書に記載するとともに、各自申込む。

エ 専門研修について

(ア) 個々の課題に沿った職務に関する専門性や学校を支える力の伸長を目的とする。

(イ) 一覧内の NO. 1 以外の研修を選択する場合は、それぞれ申込時期が異なるので、担当に確認するなどし、各校で申込む。

(ウ) 一覧内の NO. 4 「その他」を選択する場合は、校長が時間・内容を適切と判断した上で、研修計画書に記載し、備考欄にその他と記載すること。

オ 研修記録

中堅養護教諭資質向上研修の選択研修受講後の記録は、校長・副校長・教頭等の指導・助言の下、当該養護教諭が本研修に係る「選択研修報告書」(様式5)を作成し、所定のルートにより総合教育センターに提出するとともに、各校においても保管すること。

カ 留意事項

選択研修は、午前又は午後のみでの研修であっても、研修日数を「1日」とみなす。

④ 代替について

選択研修は、評価に基づき、個々の課題等に沿ったテーマにより専門性と幅広い視野を養うものであるが、当該養護教諭が現に中堅養護教諭資質向上研修の趣旨を実現するに相応しい資質・力量を備えていると校長が判断した場合には、代替申請をすることができるものとする。

ア 代替できる内容

代替申請ができる研修例と代替日数を以下に示す。申請する際は、資質・力量や代替として研修の内容や期間等を踏まえ、判断すること。

- | | |
|----|--|
| 例) | <ul style="list-style-type: none">・国立特別支援教育総合研究所特別支援教育専門研修受講(2日)・大学院派遣(2日)・総合教育センターでの長期研修(専門研究)(2日)・独立行政法人教職員支援機構主催研修受講(オンライン含む)(1日) ※既に受講修了しているもの。 |
|----|--|

イ 留意事項

(ア) 代替できる研修日数は、選択研修の最大2日分とする。

(イ) 代替については、所定のルートにより、総合教育センター中堅養護教諭資質向上研修担当まで必ず事前に問い合わせること。

(ウ) 代替申請する場合は、問い合わせ後に「代替申請書」(様式3)を作成し、研修計画書と一緒に提出する。また、「修了証」等がある場合は、その写しも併せて提出する。

【選択研修計画】

職	NO.	研 修 名	研 修 会 名
I 専 門 研 修	1	総合教育センターの研修会 教科等に関する研修	該当する研修会については、一覧を確認すること。 ■研修会番号 C1700「養護教諭スキルアップ研修会」 ■研修会番号 C1800「学校保健課題解決研修」
		特別支援教育に関する研修	■研修会番号 D0300、D0501、D0503
		教育相談に関する研修	■研修会番号 E0200～E0400
		情報教育に関する研修	■研修会番号 F1100、F1301、F1302
		総合研修	■研修会番号 G0400「長期研修研究発表会」
2	保健体育安全課の研修会	該当する研修会については、一覧及び保健体育安全課からの通知を確認すること。 ■学校保健研修会(食物アレルギー・アナフィラキシー、課題解決)	
		■食に関する指導推進研修会	
		■学校保健安全研究大会 等	
3	MAP体験研修	県教育委員会で企画するMAP体験研修を受講する。研修内容・場所及び日程等については、一覧を確認すること。	
4	その他	上記 NO. 1～NO. 3以外で、公開研究校参観及び県教育委員会が主催、共催するフォーラムへの参加等、シンポジウム等（「一覧」を参照）への参加。それ以外で所属校の校長が適当と判断する場合には、総合教育センターに連絡し、調整の上、研修を行う。	

④ 選択研修の変更について

研修計画書提出後に、研修会の中止等で選択研修の日数に変更になった場合、まずは選択研修日数1～3日を満たしているかどうかを確認した上で、提出の所定ルートで管轄の市町村教育委員会担当者（市町村立学校のみ）、総合教育センター（担当者）に連絡する。中止等により、日数が足りなくなった場合は、新たに研修を選択し、「選択研修変更願」（様式4）を提出する。なお、選択研修の変更による研修計画書の再提出は不要とし、研修報告書に記載する。

4 報告書の作成と提出

1～2月

(1) 事後の評価と「成果報告書」（様式6-1・6-2）の作成

当該養護教諭 中堅養護教諭資質向上研修の全体を振り返り、成果をまとめるとともに、評価の観点に照らして、自らの研修を通しての変容も加味しながら自己評価し、校長に提出する。

校 長 校長は当該養護教諭に対して自己評価等の聴取をするとともに、評価の観点に基づいて、研修に対する観察や研修の報告等を参考にしながら評価を行い、成果報告書を作成し、市町村立学校は市町村教育委員会に、県立学校は総合教育センターに親展で提出する。※結果は以後の指導や研修に活用すること。

(2) 「研修報告書」（様式7）の作成

校長は、校内研修及び校外研修の実績について「研修報告書」（様式7）を作成し、市町村立学校は市町村教育委員会に、県立学校は総合教育センターに提出する。

IV 関係様式

■ 中堅養護教諭資質向上研修に係る作成文書一覧

様式	文書名	作成者	提出期限
様式1 (P.15)	研修計画立案のための評価票	当該養護教諭 →校長	※市町村立学校は、市町村教育委員会から示された期日に従う。 ※市町村立学校は、様式1は親展扱い。 まとめて提出 締切：令和8年5月15日(金) ※様式3は代替がある対象者分のみ
様式2 (P.16)	研修計画書	当該養護教諭 →校長	
様式3 (P.17)	代替申請書	校長	
様式4 (P.18)	選択研修変更願	校長	研修計画提出後、変更する場合に提出。
様式5 (P.19)	選択研修報告書 ※2回以上の研修会は終了後1枚にまとめて提出	当該養護教諭	※市町村立学校は、市町村教育委員会から示された期日に従う。 8月末日まで受講分 締切：令和8年9月30日(水) 9月以降受講分 締切：令和9年1月29日(金)
様式6 (P.20、21)	成果報告書(事後評価票を含む)	当該養護教諭 →校長	※市町村立学校は、市町村教育委員会から示された期日に従う。 ※市町村立学校、県立学校ともに、様式6は親展扱い。 締切：令和9年2月26日(金)
様式7 (P.22)	研修報告書	当該養護教諭 →校長	
様式例 (P.23)	校内研修記録(例)	当該養護教諭	※学校保管

1 上記の各種様式は、総合教育センターホームページからダウンロードして使用する。

◆総合教育センター <https://www.pref.miyagi.jp/site/sokyos/>

「各種様式ダウンロード」→「中堅教諭等資質向上研修」→「中堅教諭等資質向上研修様式一覧(養護教諭・栄養教諭)」

2 提出方法と提出先

(紙媒体またはPDF) (紙媒体またはPDF) (PDF)
 (市町村立学校) 校長 →→ 市町村教育委員会 →→ 教育事務所 →→ 総合教育センター
 ※各市町村立学校は、市町村教育委員会から示された期日に従い、市町村教育委員会を經由して総合教育センターに提出すること。

※教育事務所から総合教育センターへの提出は、教職研修班宛でデスクネットメール(ウェブメール)で提出すること。なお、親展扱いの様式については、メールの件名に「親展」と明記すること。

(PDF)
 (県立学校) 校長 →→ 総合教育センター
 ※総合教育センターへの提出は、教職研修班宛でデスクネットメール(ウェブメール)で提出すること。なお、親展扱いの様式については、メールの件名に「親展」と明記すること。

(紙媒体またはPDF) (PDF)
 (市立高等学校) 校長 →→ 市教育委員会 →→ 総合教育センター
 ※総合教育センターへの提出は、教職研修班宛で電子メールで提出すること。なお、親展扱いの様式については、メールの件名に「親展」と明記すること。

研修計画立案のための評価票

学校名	〇〇〇市立〇〇〇学校	職氏名	養護教諭	〇〇	〇〇				
項目	観 点	自己評価 (〇を記入)				校長評価 (〇を記入)			
		A	B	C	D	A	B	C	D
学校の教育力を構成する実践力	保健管理力	学校保健安全法を踏まえ、健康診断や健康観察等で得た保健情報から把握した健康課題の解決に向けて、計画的・組織的に取組を推進するとともに他の教職員への助言・指導ができる。 他の教職員、外部の関係機関と連携し、健康診断や健康観察の結果を踏まえた疾病や感染症の管理・予防とともに、他の教職員への助言ができる。 救急処置及び事故等の対応ができる。							
	保健教育力	他の教職員、外部の機関との連携・協働による指導計画の作成や担任や生徒指導主事としての役割を担うことができる。また、校内外の教育活動の企画・実施に助言・指導ができる。							
	健康相談及び保健指導力	子供たちの実態から適切な指導計画の作成や担任や生徒指導主事としての役割を担うことができる。また、校内外の教育活動の企画・実施に助言・指導ができる。							
	子供理解	教育相談やカウンセリングカウンセラー等校内外の教育活動の企画・実施に助言・指導ができる。							
	学校を支える力	共感的コミュニケーションによる指導計画の作成や担任や生徒指導主事としての役割を担うことができる。また、校内外の教育活動の企画・実施に助言・指導ができる。							
実践力の基盤となる意欲・人間性等	教育への情熱	子供たちに対する深い愛情を持っている。 教員としての高い使命感と情熱を持っている。 子供の命を守る強い覚悟を持っている。 学校を安全で安心な学びの場とする意識を持っている。							
	たくましく豊かな人間性	精神的なたくましさを備えている。 広く豊かな教養と常識を身につけている。 コミュニケーション力を備えている。 他者を思いやる心を持ち、協働・協力を促すことができる。 心身の健康を保持し、適切な生活習慣を身につけている。							
	自己研鑽力	高度専門職としての教育活動の遂行に努めている。 自ら学び続け、成長し続けている。 課題意識を持って改善に努めている。 客観的な自己分析ができる。 教員同士で共に学び合う意識を持っている。 OJTを支援し、若手教員への助言ができる。							
主な研修歴	例) (H〇〇) 〇〇〇研修会 (H〇〇) 〇〇〇研修会 (R〇) 〇〇〇〇講習 ※欄に入る程度で記入してください。								
校長所見	※打ち込んでいただいて構いません。 4月1日以降の日付 令和 8 年 4 月 〇 日 〇〇〇市立〇〇〇学校 校長 〇〇 〇〇〇 (公印省略)								

自己評価 (個人内評価)

得意 (強み) ← A B C D → 不得意 (弱み)

どちらも「〇」を打ち込んでください。

校長評価

中堅養護教諭として期待される水準を

A・・・上回る
B・・・やや上回る
C・・・やや下回る
D・・・下回る

学校名 ○○○○市立○○○○中学校 氏名 ○○ ○○ 校内研修テーマ 例) 専門性を生かした校内における危機管理のあり方

	校内研修	校内研 日数	校外研修				備考	
			基本研修・専門研修 (会場等)	基本研 日数	専門研 日数	選択研修 (会場等)		選択研 日数
4月	【講話】 事故発生時における校内の緊急時体制	1						
5月			5 / 1 ~ 基本研修1 (オンデマンド配信) 5 / 29	1	1			
6月			5 / 21 専門研修1 (総合教育センター)			6 / 6 重度		
7月	【協議】 SC・SSW・特別支援コーディネーターとの健康課題についての協議 【実技実習】 教職員対象のAED講習会 (企画・運営)	2						
8月	【講義】 精神保健研修会 (運営と受講)	1	8 / 17 ~ 専門研修2 講義 (オンデマンド配信) 9 / 18		0.5			
9月	【授業実践】 第6学年体育科保健領域「病気の予防」	1	9 / 24 専門研修2 演習 (総合教育センター)		0.5	9 / 18 食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会	1	
10月			10 / 16 専門研修3 (総合教育センター)		1			
11月			11 / 6 基本研修3 (総合教育センター)	1		11 / 27 養護教諭スキルアップ研修会		
12月								
1月					1			
2月								
3月								
計	※ 授業実践 合計	1	校内研修 合計	5	日	基 選 修 研 修 合 計	3	校外研修 合計
	※ 授業実践以外の研修 合計	4				※ 代替申請 合計		10
			専門研修 合計	4				日

注意!!

この様式に記入しても研修会を申し込んだことにはなりません。選択研修については、各自の申し込みになります。作成の際は、実施計画P.12、13の選択研修を必ず確認し記入してください。

保健教育に関する授業実践は、養護教諭の職務「保健教育」に基づき、1回以上行うこととします。ただし、授業実践は保健指導、個別指導及び啓発活動を除きます。

基本研修は「左列」に、専門研修は「右列」に入力してください。

「No.4 その他」の研修を選択した場合は、備考欄に「その他」と記入してください。

1~3日になるように計画してください。

代替申請がある場合には、必ず様式3を添付してください。

合計5日になるように計画してください。

合計8~10日になるように計画してください。

○○○○市立○○○○中学校 養護教諭 ○○○○市立○○○○中学校 中堅養護教諭資質向上研修計画書を、上記のとおり提出します。 ○○ 教育委員会 教育長 ○○○○ (省略)

令和 8 年度中堅養護教諭資質向上研修
代替申請書

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

〇〇〇市教育委員会教育長 殿

【市町村立学校】
市町村教育委員会教育長宛てで作成してください。
【県立学校】
総合教育センター所長宛てで作成してください。

学校名 〇〇〇市立〇〇小学校

校 長 〇〇 〇〇 (公印省略)

下記のとおり相違ないことを証明し、選択研修の代替を申請します。

記

上の学校名を入力すると、自動入力されます。

学 校 名	〇〇〇市立〇〇小学校
養 護 教 諭 氏 名	〇〇 〇〇
代 替 日 数	1 日
該 当 研 修 等	独立行政法人教職員支援機構主催研修
備 考	修了証の写しを添付

「代替日数」と「該当研修等」は、総合教育センター担当指導主事に問い合わせ、確認の上、入力してください。

修了証等の写しがある場合は、備考欄にも入力してください。

※所定のルートで提出してください。

令和 8 年度中堅養護教諭資質向上研修
選 択 研 修 変 更 願

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

〇〇〇市教育委員会教育長 殿

【市町村立学校】

市町村教育委員会教育長宛てで作成してください。

【県立学校】

総合教育センター所長宛てで作成してください。

学校名 〇〇〇市立〇〇小学校

校 長 〇〇 〇〇 (公印省略)

下記のとおり、選択研修の変更をしたいので、許可くださるようお願いいたします。

記

養護教諭氏名	〇〇 〇〇	
変 更 前	研 修 会 名	養護教諭スキルアップ研修会 (宮城県総合教育センター)
	研 修 期 日	令和 8 年 11 月 27 日 (金) ~ 令和 年 月 日 ()
	研 修 会 場	宮城県総合教育センター
	研 修 内 容	複雑化・多様化する児童生徒の健康課題に対応するため、養護教諭としての専門性向上と、実践におけるスキルアップを図る。
変 更 後	研 修 会 名	総合教育センター・長期研修研究発表会 (宮城県総合教育センター)
	研 修 期 日	令和 9 年 2 月 10 日 (水) ~ 令和 年 月 日 ()
	研 修 会 場	宮城県総合教育センター
	研 修 内 容	宮城県の教育課題に向けて研究に取り組んだ「教育課題研究研修」と、研修員が設定したテーマにより教科・領域の指導実践に係る研究に取り組んでいる「実践力向上研究」の研究・研修成果の発表を聴講する。
事 由 (具 体 的 に)	体調不良により11月27日の養護教諭スキルアップ研修会を欠席したため、年度途中でも申し込みのできる研修から、中堅養護教諭としてこれから学校の力となっていくための知見を深めることを目的として、長期研修研究発表会の受講への変更を希望します。	

研修会の名称の後に、「(研修会の主催団体名)」を必ず記入してください。

プルダウンリストは、直接入力もできます。

※所定のルートで提出してください。

変更に関する具体的な事由を記載してください。
 ※ 自身の研究テーマを踏まえて考えること。

令和8年度中堅養護教諭資質向上研修

成果報告書

学校名	〇〇市立〇〇〇小学校	職氏名	養護教諭	〇〇 〇〇
-----	------------	-----	------	-------

1 主な研修内容と成果

校外研修	
<p>主に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本研修1~3 ■ 専門研修1~4 ■ 選択研修 <p>について、どのような学びがあったのかを具体的に記入してください。</p>	

校内研修	
校内研修テーマ	例) 専門性を生かした校内における危機管理のあり方
<p>自身の校内研修テーマについての研究内容を分かりやすくまとめて記入してください。</p>	

2 今後の研修課題

<p>中堅養護教諭としての自分自身のこれからの展望を含めて、記入してください。</p>

3 中堅養護教諭資質向上研修の事後評価

項目	観 点	自己評価 (○を記入)				校長評価 (○を記入)			
		A	B	C	D	A	B	C	D
学校の教育力を構成する実践力	保健管理力	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p>自己評価(個人内評価)</p> <p>得意 ← A B C D → 不得意 (強み) (弱み)</p> <p>研修を通しての変容を加味しながら自己評価を行う</p> </div>							
	保健教育力								
	健康相談及び保健指導力								
	子供理解								
	学校を支える力	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>どちらも「○」を打ち込んでください。</p> </div>							
実践力の基盤となる意欲・人間性等	教育への情熱								
	たくましく豊かな人間性								
	自己研鑽力								

以上のとおり報告します。

令和 9 年 〇 月 〇 日

学校名 〇〇市立〇〇〇小学校

職・氏名 養護教諭 〇〇 〇〇

校長所見	<p>※打ち込んでいただいて構いません。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <p>「学校名」「氏名」は表の学校名・氏名を記入していると自動入力されます。</p> </div>		
	令和 9 年 〇 月 〇 日	〇〇市立〇〇〇小学校	校長 〇〇 〇〇 (公印省略)

学校名	〇〇〇〇市立〇〇〇〇中学校	氏名	〇〇 〇〇	校内研修テーマ	例) 専門性を生かした校内における危機管理のあり方
-----	---------------	----	-------	---------	---------------------------

	校内研修	校内研 日数	校外研修				備考	
			基本研修・専門研修 (会場等)	基本研 日数	専門研 日数	選択研修 (会場等)		選択研 日数
4月	4 / 10 【講話】 事故発生時における校内の緊急時体制	1						
5月			5 / 1 ~ 基本研修1 (オンデマンド配信) 5 / 29 5 / 21 専門研修1 (総合教育センター)	1	1			
6月			6 / 19 基本研修2 (総合教育センター)	1		6 / 6 重度・重複障害教育研修会	1	
7月	7 / 7 【協議】 SC・SSW・特別支援コーディネーターとの健康課題についての協議 7 / 24 【実技実習】 教職員対象のAED講習会 (企画・運営)	2						
8月	8 / 20 【講義】 精神保健研修会 (運営と受講)	1	8 / 17 ~ 専門研修2 講義 (オンデマンド配信) 9 / 18		0.5			
9月	9 / 4 【授業実践】 第6学年体育科保健領域「病気の予防」	1	9 / 24 専門研修2 演習 (総合教育センター)		0.5			
10月			10 / 16 専門研修3 (総合教育センター)		1			
11月			11 / 6 基本研修3 (総合教育センター)	1		11 / 27 養護教諭スキルアップ研修会 体調不良で欠席		
12月			12 / 2 専門研修4 (総合教育センター)		1			
1月								
2月						2 / 10 長期研修研究発表会 (総合教育センター)	1	
3月								
計	※ 授業実践 合計	1	校内研修 合計	基本研修 合計	3	選択研修 合計	3	校外研修 合計
	※ 授業実践以外の研修 合計	4		専門研修 合計	4	※ 代替申請 合計	0	10 日

研修報告書では、実際に実施した期日・内容を記入してください。

選択研修を変更した場合は、
①変更前の研修を見え消しし、事由を併記してください。
②選択研修報告書変更願(様式4)を作成、提出してください。

③その上で、変更後の研修を記入してください。

注) ※は直接数字を打ち込んでください。

〇〇〇〇市立〇〇〇〇中学校 養護教諭 〇〇 〇〇 の令和8年度の中堅養護教諭資質向上研修報告書を、上記のとおり提出します。

〇〇〇〇市立〇〇〇〇中学校 校長 〇〇 〇〇 (公印省略)

(様式例)

中堅養護教諭資質向上研修 校内研修記録

学校名

職 氏名 養護教諭

月 日 ()	研修場所	
	時間帯	～
研修内容等		
感想		
備考		

月 日 ()	研修場所	
	時間帯	～
研修内容等		
感想		
備考		

注1 備考欄に、指導者所感を記入します。

注2 研修内容は簡潔に記入し、研修の改善等に活用できるようにしてください。

注3 校内研修の記録とし、作成後は学校保管としてください。